

新型コロナウイルスの感染対策について

みなさん、お久しぶりです！

しばらく更新できずに申し訳ありませんでした。

私が住んでいる建物は、日本人をはじめ、多くの外国人が住んでいます。部屋の設備にインターネットテレビが設置されており、日本のテレビ番組をリアルタイムで観ることができます。また、時々インターネットのニュースで上越の話題も見えています。

その中で心配なのが、最近の日本の新型コロナ感染者の増加です。全国各地で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されたり、新潟でも感染者が増えたり、そのようなニュースを見聞きすると、城北中の皆さんのことが気がかりでなりません。

上海日本人学校は、例年通り、8月16日から2学期が始まりました。しかし、開始から2週間はオンライン授業になりました。中国も厳しい防疫体制を敷いているにも関わらず、7月下旬から、上海市の周辺都市で久しぶりにコロナ患者がでました。その影響で児童生徒は登校ができなくなり、オンラインで自宅での授業になっています。

中国での新型コロナ感染防止対策はとても厳しく、外国から中国に出国する場合は、出発地と到着後のPCR検査はもちろんですが、中国の空港に到着したら専用車で隔離指定のホテルに連れていかれ、2週間の完全隔離をしなければなりません。そして、ホテルの部屋から一歩も外へ出ることは許されません。食事は支給されますが、朝、昼、晩の三食を2週間ずっと弁当です。上海の場合は、2週間のホテル完全隔離の後、自宅でもう1週間の隔離をしなければなりません。

このような時に海外に行くなんてと思うかもしれませんが、観光客は一人もいません。多くは仕事関係や在留許可の手続きなど、どうしても外国を行き来しなければならない人たちです。

そのような厳しい措置をしても、新型コロナ患者が時々出ます。新型コロナ患者が出た場合、その地区は、ほぼロックダウンになり、該当地区住民は全員PCR検査、出張で該当の市に行けば、PCR検査で陰性を確認しないと、その地区から出ることはできません。

中国と日本は、政治の体制が違うので、新型コロナに対する対応も当然違います。しかし、日本の皆さんも新型コロナに感染しないよう一人一人の意識は高いと思いますが、中国の人々も同様に、新型コロナに対する意識はとても高いです。

このような状況では、国の対策はもちろんですが、県や市、地域や学校、そして個人が、できることをやっていかないと、全体として幸せな方向には行きにくいと思います。

城北中の皆さんも、通常の学校生活が送れないこともあると思います。城北中のホームページを見ると、その中で頑張っている生徒の皆さんの姿に心が熱くなります。

日本と中国、距離はありますが、みんなが通常の生活をして、幸せに生きていきたいと思う気持ちは同じです。お互いに励まし合いながら、この苦しい時を乗り越えていきましょう。



国内移動のために病院へPCR検査を受けに来ている人々